

Short Shorts NEWS

今年の**グランプリ**は誰の手に？
オフィシャル審査員5名が決定！

世界中の優れたショートフィルムを上映するアジア最大のショートフィルムの祭典「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL 2005」(6/29(水)～7月4日(月)ラフォーレ原宿)では、本年度各アワード作品の選定にあたり、オフィシャル審査員として、コシノジュンコ氏、中野裕之氏、浜野保樹氏、ホルヘ・マガニャ・モリナ氏、マルシア氏の5名を決定しました(プロフィール別紙参照)。この5名の審査員と、ショートショートフィルムフェスティバル実行委員会により、本年度各アワード、グランプリ作品を選定することになります。昨年、本映画祭のグランプリ受賞作品が来年度の米国アカデミー賞の審査対象としてノミネートすることが決まっているため、今年のグランプリ作品が来年のオスカー像を手に入れているかも!? 7/3(日)に行われるクロージングセレモニーにて発表される注目の審査結果にご注目ください!!



コシノジュンコ



中野裕之



浜野保樹



ホルヘ・マガニャ・モリナ



マルシア

★本年度アワード概要 コンペティション 対象作品より下記アワードがそれぞれ選定されます。

《Short Shorts Film Festival 2005》

《優秀賞: Best Short》

International部門 1作品

《審査員特別賞: Special Mention》

International部門 1作品

《ティーエフエスアワード: TFS Award》

International部門 1作品

《Short Shorts Film Festival Asia》

《優秀賞: Best Short》

International(Asia)部門/National部門 各1作品

※ National 部門最高賞には、別賞「スーパードライアワード」として、次回制作費として300万円が贈られます。

《審査員特別賞: Special Mention》

International(Asia)部門/National部門 各1作品

《Short Shorts Film Festival 2005 / Short Shorts Film Festival Asia》

《グランプリ: Grand Prix》2映画祭の全てのコンペ対象上映作品の中で最高賞1作品

《オーディエンスアワード: Audience Award》観客の投票によるアワード1作品

※1 グランプリ受賞作品が、2006年度、米アカデミー賞の公式スクリーニングにノミネートされることになります。

■報道関係の皆様からの掲載に関するお問い合わせ先
(作品写真提供分・ポジ、作品VTRその他の資料の貸出等もお申し付け下さい。)

株式会社サニーサイドアップ

TEL.03-6825-3388 FAX.03-5413-3050 担当:小池/楠本/松山
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8

審査員プロフィール



コシノジュンコ

1960年に装苑賞を受賞し、1969年に青山ブティック「COLLETTE」をオープン。1978年にはパリコレクションデビューを果たす。1985年つくば博にて、政府館ユニフォームデザインを担当、同年、北京で中国最大のショーを開催した。1989年、パリのアベニューモンテニコに「GALERIE JUNKO KOSHINO」をオープン。さらに、1992年には、ニューヨークのパークアベニューにも同じくブティックをオープンさせた。その翌年には、読売ジャイアンツのグランドコートのデザイン、貴乃花と若乃花の大関昇進祝賀化装式贈呈式の衣装デザインを担当。1995年には、読売ヴェルディ川崎ユニフォーム、2000年の沖縄サミット各国首脳オリジナルウェア。2002年、日韓国民交流記念事業オペラ「蝶々夫人」の衣装デザインなど務め活躍している。2004年に手がけたブロードウェイミュージカル「太平洋序曲」の衣装デザインにて、今年5月に米国トニー賞コスチューム部門にノミネートされる。



中野 裕之

“ヒースな映像”作家。1958年広島県生まれ。映像的な音楽ビデオを作り続けるかわら、VIDEOARTの作家としてブラジル、フランスなどで作品を公開。93年にビーステリックを設立。世界中のMTVで放映されてミュージッククリップは、MTVアワード6部門にノミネートされた。また、映画監督としても1998年劇場第一作「SF・サムライ・フィクション」が世界中で多くの賞を受賞し、高い評価を得ている。以後、「SF・Stereo Future」「Red Shadow 赤影」「SF・Short Film」などの作品を発表。新作としては、今回ショートショートフィルムフェスティバル EXPO2005にて、初上映となる「RE:サイクル」がある。現在の活動は、映画監督、ミュージッククリップ、広告、映像作品と多岐にわたる。



浜野 保樹

1951年(昭和26年)生まれ。国語基督教大学養学部卒業。新潟大学教育学部、メディア教育開発センターを経て、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授。工学博士(東京大学)。コンテンツ制作に関する研究開発に従事する。主な著書として、「表現のビジネス」、「模倣される日本」、「メディアの世紀」、「ハイパーメディア・ギャラクシー」、「キューブリック・ミステリー」などがある。黒澤明文化振興財団理事、徳間記念アニメーション文化財団評議委員、総務省AMDアワード審査委員長、経済産業省デジタルコンテンツグランプリ審査委員、経済産業省日本映画テレビ技術対象審査委員、文化庁メディア芸術祭運営委員など。



ホルヘ・マガニャ・モリナ

1976年、メキシコシティ生まれ。IMCINE・メキシコ映画協会促進課の国際映画祭コーディネーターとして活躍している。The National Autonomous University of Mexicoの政治社会科学科でのコミュニケーション論(ジャーナリズム)の学位を取得。卒業試験および卒業論文「今日におけるメキシコ短編映画」(メキシコ映画協会1990-1997)で名誉学位を受ける。ショービジネス、文化、映画における記事の編集も手がけている。ホルヘはIMCINE映画配給オフィスの国際マーケット部門で、2000年2月から2001年7月までアシスタントを務めた後、現在の国際映画祭コーディネーターの職に就いた。様々な国で長編・短編映画のプログラムを組み、また各国の映画祭に特別ゲストならびに審査員として出席している。



マルシア

1969年、ブラジル・サンパウロ州生まれ。86年、歌手を志して来日。作曲家の故・猪俣公章師に師事して、89年に「ふりむけばヨコハマ」で歌手デビューした。圧倒的な歌唱力で、その年の日本レコード大賞最優秀新人賞をはじめとする15もの音楽賞を受賞。以降、コンサートやディナーショー、テレビの歌番組他で音楽活動をするかわら、ドラマやバラエティ番組などにも出演、多岐な才能を発揮する。2001年にはミュージカル「ジキル&ハイド」で初舞台を踏み、文化庁芸術祭演劇部門新人賞に輝いた。その後、「レ・ミゼラブル」「ユーリントウン」などの大型ミュージカル作品に次々出演し、現在は舞台活動を中心に幅広く活動中。